**＜11回目のお話＞　聖霊の賜物**

◆**代表者による祈り**

◆**分かち合い**

どんな賜物を持っていますか。どんな賜物を慕っていますか。賜物を用いてどのようなことに献身したいですか。

◆**御言葉を開いてみましょう**

コリントⅠ12:4-11

◆**御言葉を知る**

聖霊の賜物は、聖霊で満たされている全ての人々に聖霊様が分け与えて下さる恵みの贈り物です。今回は、聖霊の賜物にはどのようなものがあるかについて見ていきます。

**1．職と関連した賜物**

エペソ4章11-12節は、職に関連した賜物について話しています。

1. 使徒：使徒とは遣わされた人を指します。本来、使徒とはイエス様が直接選ばれた12人の使徒とパウロのみを意味します。主に仕えるよう呼ばれたすべての聖徒は、使徒のように福音を伝えるよう遣わされました。
2. 預言者：預言者とは神様の御言葉を預かって伝える人を指します。旧約時代において預言者はイスラエルと世界へ向けられた神様の御言葉を預かって、それを宣言する役割を果たしました。今日において預言者的な役割を果たすとは、記録された御言葉をもって聖徒を慰め、教会の徳を立てることを意味します。
3. 伝道者：伝道者とは福音を伝える力のある人を指します。福音を伝えることは全ての聖徒の使命ですが、伝道者は他の人よりももっと力あふれる形で福音を伝え、伝道の実も豊かに結びます。
4. 牧師また教師：牧師と教師は御言葉で養育し、信仰の中でよく成長させる人々を指します。牧師と教師は聖徒の生活を理解し、彼らが御言葉の中で成長できるよう助けます。

**2．奉仕と関連した賜物**

ローマ12章7-10節は、奉仕と関連した賜物について話しています。

1. 奉仕の賜物：奉仕の賜物とは、様々な奉仕をする賜物のことです。奉仕の賜物を受けた人は、自分の家族、教会の中の困った聖徒、まだ信じていない隣人に至るまで、奉仕の手を差し伸べます。
2. 教える賜物：教える賜物は、神様の御言葉で聖徒を教育し、正しい道に導く賜物です。教える賜物を受けた人は、まず自分自身が御言葉の上に堅く立つために努め、聖徒たちに御言葉を余すところなく教えます。
3. 勧める賜物：勧める賜物は、人生において苦しみに遭っている聖徒を慰め、励ます賜物です。勧める賜物を受けた人は、暖かく思慮深い言葉で聖徒に力と勇気を与えます。
4. 分け与える賜物：分け与える賜物は、物心両面から隣人を助ける賜物です。分け与える賜物を受けた人は、志願する心で誠実に隣人の必要を満たします。
5. 指導する賜物：指導する賜物は、目標を達成するために共同体を導く賜物です。指導する賜物を受けた人は共同体に目標を提示し、彼らが一つの心となってその目標を達成するために進めるよう仕えます。
6. 慈善を行なう賜物：慈善を行なう賜物は、弱くて疎外された人に共感しながら、彼らに助けを与える賜物です。慈善を行なう賜物を受けた人は、隣人の苦しみを見ながらともに悲しみ、彼らに実質的な助けを与えます。

**3．超自然的な力と関連した賜物**

コリントⅠ12章7-9節は超自然的な力と関連した賜物について話しています。

1. 知恵のことば：知恵のことばとは、聖書を通して与えられる神様の知恵です。人間の考えと判断によっては、人生の様々な苦しみを克服するのは難しいことです。しかし、知恵のことばの賜物があれば、聖書を基盤にした神様の知恵が臨んで、人生の患難を克服することができます。
2. 知識のことば：知識のことばとは、全知なる神様からやってくる知識です。神様は知識のことばの賜物を受けた人に、教会において徳を立てることができる知識を下さいます。
3. 信仰：信仰とは、普通の人は考えられないような大胆な信仰が生まれる賜物です。信仰の賜物を受けた人は、超越的なわざを行なう大胆さが与えられ、聖霊様をその人を用いて、癒すことのできない病気を癒され、悪霊を追い出すなどの奇跡を行われます。
4. いやし：いやしとは、聖霊の力で病気を癒す賜物です。いやしの賜物は、よくある病気から、現代医学では治せない病気までをも癒します。さらには肉体のみでなく、心の病も癒します。
5. 奇跡を行う：奇跡を行うとは、自然法則を乗り越えた奇跡を行う賜物です。奇跡を行う賜物を受けた人は、力の源は聖霊様であり、その動機は愛であることを忘れてはなりません。
6. 預言：預言とは、記録された御言葉を聖霊様の導きの中で正しく理解して聖徒に伝える賜物です。預言は教会の徳を立て、聖徒が御言葉の中で正しく育つように助けます。
7. 霊を見分ける：霊を見分けるとは、霊が神様に属しているか否かを分別する賜物です。霊を見分ける賜物がある人は、福音の真理から外れた他宗教、異端、虚しい哲学などを分別して、自分と隣人を守ることができます。
8. 異言：異言とは、霊的な言語で語る賜物です。異言を話すことで聖徒は神様との深い交わりの中に入り、個人の徳を立てることができます。さらには、異言を通して聖霊様と心を合わせ、神様のみ旨にふさわしい祈りを捧げることができます。
9. 異言を解き明かす力：異言を解き明かす力とは、異言を解釈する賜物です。異言は霊的な言語であり、人間の理性では理解できません。しかし、異言を解き明かす力を受けた人は、異言を人が理解できる言語に通訳することができます。

◆**祈り及びとりなしの祈り**

1．聖霊の賜物を受けて、教会にもっと効果的に仕えることができるよう祈りましょう。

2．受けた賜物を通して、以前よりももっと熱心に教会に仕えるよう祈りましょう。

3．聖霊の賜物が豊かに現れる教会となるよう祈りましょう。

4．隣の人と祈りの課題を分かち合い、ともに祈りましょう。

以上の内容はヨイド純福音教会区域礼拝テキストから抜粋、追加、翻訳、再構成したものです。